

1人1台のPCを使った教育が始まる今
PCやネットを「正しく安全に使う」
情報モラルを含む情報活用能力を養おう

ネットモラル



札幌市立琴似中央小学校 菅野光明 校長

新年度を迎えるにあたって

進学や進級に合わせ、新たにスマホを持つ子どもが増える時期です。ニュースで話題になっている「一人一台のPC」を使った授業も、本格的に始まります。

そんな今、家庭ではどんな指導をすればいいのでしょうか。札幌市立琴似中央小学校の菅野光明校長先生に教えていただきました。

TOPIC 01 家庭でしてほしい 情報モラル指導「三つの柱」

子どもに自由にゲーム機やスマホを使わせるのは、免許取り立ての人にいきなりスーパーカーを与えるようなものです。スーパーカーなら、何百馬力もあるすごい車だから運転には注意が必要だと見た目でわかりますが、ゲーム機は一見するとただのゲーム機にしか見えません。しかし保護者の方々が子どもの頃に遊んだゲーム機と違い、今のゲーム機はネットにつながることで、YouTubeも見られ、メールもできます。ネットショッピングやゲームの課金もできてしまいます。「ただのゲーム機だから、時間の管理はするけどあとは自由に使わせて大丈夫」と保護者は油断しがちですが、ネットにつながるPCを持たせているのと同じなのです。

しかも子どもたちは、親よりも遙かにネットに詳しいです。子どもが自宅のWiFiのパスワードを友だちに教えてしまった結果、「あそこに行けばタダでWiFiにつながる」との噂が広がり、親が知らぬ間に家の周りが子どもたちのたまり場になってしまっているケースもあります。「家のWiFiのパスワードを他人に教えない」と指導するだけでは十分ではありません。今は、コンビニや商業施設、駅など、街中にフリーのWiFiスポットがたくさんあります。親の知らないところで、ゲーム機からネットにつながることもできるのです。

ゲーム機ですらこうですから、スマホはもっと多くのことができてしまいます。ですので保護者の方には、次の「三つの柱」に留意して情報モラルを指導しましょう。

「三つの柱」

① 親子でいっしょにルールを作る

ゲーム機やスマホを使っている時間、場所、機能などを決めましょう。

② インターネットのルールやマナー

「一日何時間まで」といった使用時間のルールだけでなく、インターネットを使う時のルールも決めましょう。個人情報を書かない、画像をSNSに投稿しない、ネットショッピングや課金は行わないといったルールを決め、「他人を傷つける発言はしない」等のマナーも指導しましょう。

③ 本体の使用制限を行う

ペアレンタルコントロールをかけるなど、親子で相談しながら、使用制限をかけましょう。

TOPIC 02 一人一台のPCを使う時代には 発想の転換が必要

以上の「三つの柱」を、私は長年保護者にお願ひしてきましたが、今後はこれだけでは足りなくなります。みなさんもニュース等でお聞きになっていると思いますが、学校の授業で「一人一台のPC」を使うようになるのです。

たとえばネットで調べ学習をして、その情報を整理・分析し、自分の意見をPC上でまとめ、大型テレビに映しながらプレゼンする。社会見学や理科の実験の様子を写真や動画で撮影し、表計算ソフトでデータをもとめたりしながら報告する。クラウド上で文書ファイルなどを共有し、グループで話し合いながら共有ファイルに書き込み意見を形成する。遠く離れた学校の子どもや大人と、テレビ会議やネット上で意見交換や情報発信を行う。このような今まではない新しい教育を行うようになります。

「一人一台のPC」が学校に入れば、子どもたちがPCやネットを使う機会がますます増えます。今までは子どもがネットを使うことを禁止したり、使う時間や範囲を制限したりすることに重点が置かれてきました。しかし「一人一台」の時代には、発想を変えなければなりません。「正しく安全に使う」力を身につけることが求められます。

TOPIC 03 どんな教育をしているのか 興味を持ち子どもと共に学ぼう

たとえばネットで調べ学習をする際には、複数のサイトを見て、情報の真偽を確かめる。友だちや大人を撮影する際は、許可を得る。ネット上で交流したり意見交換したりする場合は、他者を傷つける言葉を慎み、個人情報が出回らないように気をつける。このような情報モラルを含む「情報活用能力」は、すべての子どもに必要な「学びの基盤」です。学校では、大人になっても仕事や生活で役立つ力を育もうとしているのです。

学校でどんな授業を行い、どんな力を育もうとしているのか、保護者の方々も興味関心を持ってください。一人一台のPCがいつ導入されるかは自治体や学校によって異なりますが、導入されたら授業を見に行くといえると思います。家庭でも、PCを使ってどんな授業をしているのか話題にしたり、子どもが持ち帰った宿題をいっしょに取り組んだりしてみよう。そうすれば、学校で子どもたちがどのようにPCやネットを使っているかがわかり、正しく安全に使うためにはどんな力を身につける必要があるかをイメージできます。子どもの将来のために、家庭で何を指導すればいいかも見えてくるはずですよ。

「一人一台のPC」を使った教育が始まる今、学校と協力しながら親子でともに学び、必要な力を身につけていきましょう。

親子で考えるネットとの上手な付き合い方

保護者のみなさまへ

現在では生活の中にネットがあるのがあたりまえで、子供もネットをうまく使いこなすスキルが必要な時代になってきています。ネットとの上手な付き合い方について、親子で一緒に考えてみましょう。

家庭で求められる 情報モラル指導「3つの柱」

その①

親子で一緒にルール作り

ポイント

親子のためのルールなので、子供がなぜルールが必要なのかを理解し、納得できるルールにする。

例えば…

時間：一日に何時間まで夜何時までなど。

場所：ゲームはリビングです、充電はリビングですなど。

☆依存症を予防し、ゲームだけではなく自己管理ができるようになる！

大人が子供の見本になりましょう！
子供の前で、スマホを長時間使用することや、食事中にスマホを見ることは控えましょう。



その②

ネットのルールやマナー

ポイント

ネットの危険性も理解し、安全な使い方について親子で話し合う。

例えば…

個人情報：知らない人に住所や名前を教えないなど。

課金：勝手にしない。親に相談するなど。

☆ネットのルールは、普段の生活と同じ！相手の顔が見えないネットでのやり取りですが、必ず相手は人だということを意識しましょう。

ルールやマナーを学ぶことは
良好な人間関係を学ぶことに
繋がります。



その③

本体の使用制限を行う

ポイント

親子で、タブレットやゲーム機などの機能について学び、一緒に話し合っ設定する。

例えば…

フィルタリング：悪意のあるサイトを遮断するなど。

設定：アプリによっては年齢制限や時間制限などの設定ができる。

☆機能を知ると有害なサイトや動画から子供を守るができる！

YouTubeにも制限付きモード
があります！普段子供が利用
するアプリやゲーム機の設定
を見直しましょう。



今
流行りの

オンラインゲームで「3つの柱」を考えてみましょう！

子供から大人までハマるオンラインゲームについて学びましょう。

そもそも オンラインゲームの魅力は？

常にゲームが アップデート

つまり…
飽きずに楽しめる！

👍 おすすめルール

熱中するあまり時間を忘れがち。時間をきっちり決めて楽しめましょう。



ほぼ無料で 始められる

つまり…
始めるときは無料だけど、アイテム購入などで課金をしすぎることも…。

👍 おすすめルール

ゲームを進めていくと、だんだん難しくなり、アイテムが欲しくなってしまいます。課金したいときは親に相談するようにしましょう。

ネット友達 との出会い

つまり…
学校の友達だけでなく、オンラインゲームで知り合った他人ともゲームができる！

👍 おすすめルール

たとえゲームの中で仲良くなったとしても、会ったことのない知らない人です。信用しすぎず、個人情報は教えないようにしましょう。

青少年インターネット 環境整備法

保護者の責務

(施行令第六条)より

○保護者はネット上には有害情報が多くあることを知り、子供の発達段階に合わせてネット利用を把握する。

○子供がネットを適切に活用する能力向上に、努める。



18歳未満は、携帯やスマホ
「購入・機種変更時の
フィルタリング有効化」
が義務に！

広教ニュースレター

は、情報モラルや情報教育に関するニュースや授業実践、また最前線でご活躍されている先生方の寄稿や対談などを掲載するニュースレターです。

広島県教科用図書販売株式会社

〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号

TEL 082-291-1088 FAX 082-291-1082

URL <http://www.hirokyou.co.jp> E-mail info-hiroshima@hirokyou.co.jp

広教
HIROKYO